

2012年11月22日

## 一連のIASB 関連国際会議及び海外動向について

2012年10月には、IASB 関連の5つの国際会議が海外において開催されたので、それぞれの主なテーマをご紹介しますと共に、それらの中から、特に重要と思われる次の3つのテーマについて、さらなる概要をご報告する。

- ・ IASB ワークプラン関連
- ・ 概念フレームワーク
- ・ 会計基準アドバイザー・フォーラム設置の提案

### 1. IASB 定期協議及びその他の国際会議報告

#### 1. IASB 定期協議

- 2012年10月29日(月)および10月30日(火)の2日間、ロンドンにてIASB 定期協議(第16回)が開催された。主な議題は以下の通り。
  - IASB および ASBJ の各アップデート
  - 金融商品(分類と測定、減損)
  - リース
  - 収益認識
  - 概念フレームワーク(純利益とOCI、公正価値測定の範囲、その他)

#### 2. 世界会計基準設定主体(WSS)会議

- 2012年10月25日(木)および10月26日(金)の2日間、ロンドンにてIFRS 財団主催の世界会計基準設定主体(World Standard-Setters: WSS)会議が開催された。詳細は、IASB のウェブサイト上で公開されている<sup>1</sup>。主な議題は以下の通り。
  - IASB ワークプラン、今後のアジェンダについて
  - IASB と各会計基準設定主体等との協力関係について
  - IFRS 解釈指針委員会のアップデート
  - IFRS 諮問会議のアップデート
  - 教育セッション(ヘッジ会計、リース)
  - 中小企業向け国際会計基準(IFRS for SME)の見直し案に対する意見交換
  - 新基準のアップデート(金融商品 分類と測定、減損、ヘッジ会計。IFRS 第10号「連結財務諸表」、IFRS 第11号「共同支配の取り決め」、IFRS 第12号「他の企業への関与の開示」、IFRS 第13号「公正価値測定」、投資企業)
  - 小グループによる意見交換(概念フレームワーク、開示フレームワーク、収益認識、他)

<sup>1</sup> <http://www.ifrs.org/Meetings/Pages/World-Standard-setters-Meeting.aspx>

### 3. アジア・オセアニア基準設定主体グループ (AOSSG) 非公式会議

- 2012年10月24日(水) ロンドンにてアジア・オセアニア基準設定主体グループ (Asia-Oceania Standard-Setters Group: AOSSG) 非公式会議が開催された。IASBからは、理事に加えて各主要トピックのテクニカル・スタッフを招いて議論を行った。主な議題は以下の通り。
  - IFRS財団が提案している「会計基準アドバイザリー・フォーラム」へのアジア・オセアニア地域からの参加について
  - 11月のAOSSG年次総会(於:カトマンズ)に向けた計画
  - その他テクニカルな議論(金融商品、保険契約、収益認識、リース)

### 4. 会計基準設定主体国際フォーラム (IFASS) 会議

- 2012年10月22日(月)および10月23日(火)の2日間、スイスのチューリッヒにて非公式の各国会計基準設定主体および地域グループの集まりである会計基準設定主体国際フォーラム (International Forum of Standard-Setters: IFASS) 会議が開催された。主な議題は以下の通り。
  - IFRS財団からの「会計基準フォーラム」設立の提案
  - 各地域グループからの活動報告
  - 開示フレームワーク (EFRAG、FASB、ドイツ、英国)
  - 無形資産・のれんの会計処理 (オーストラリア、EFRAG・イタリア、日本)
  - その他のテクニカルなトピック (共通支配下の企業結合、投資税額控除、IAS第19号「従業員給付」における割引率、財務報告における「測定」、公会計における結合、他)
  - 今後のIFASS会議について

### 5. 日中韓三カ国会計基準設定主体会議

- 2012年10月10日(水) 韓国ソウルにて日中韓三カ国会議が開催された。国際会計基準審議会 (IASB) からは、オブザーバーとして、鷲地理事、Wei-Guo Zhang 理事および Chung Woo Suh 理事の参加があった。主な議題は以下の通り。
  - 新興経済国グループに関するアップデート
  - 中小企業向け会計基準
  - IASB アジェンダ協議
  - IASBにおける進行中プロジェクト (収益認識、リース、金融商品、保険契約) および6つのコミッティに関する議論
  - 共通支配下における企業結合
  - IFRS財団アジア・オセアニアオフィスに関するアップデート

## II. 上記の一連の会議テーマの中の主なもの

### 1. IASB ワークプラン関連

- 金融商品 ヘッジ会計  
IASB は、一般ヘッジ会計のレビュー・ドラフト（RD）を 2012 年 12 月までウェブサイト上で公開することとしている。最終基準化は、2012 年第 4 四半期の予定となっている。
- 金融商品 減損  
IASB は、10 月までに関係者へのアウトリーチ結果の分析を終え、11 月のボード会議で満期までにわたる期待損失（life-time expected loss）の認識要件を再検討する予定であり、2012 年第 4 四半期中に再公開草案が公表される予定となっている。なお、FASB の減損モデルについて、今後、IASB において解説が行われる予定である。
- 金融商品 分類と測定  
IASB は、9 月までに議論を概ね終了し、2012 年第 4 四半期中に IFRS 第 9 号の限定的な改訂となる公開草案を公表予定である。
- 収益認識  
2011 年 11 月に国際会計基準審議会（IASB）および米国財務会計基準審議会（FASB）より公表された改訂公開草案「顧客との契約から生じる収益」に対するコメント・レター等の分析を踏まえた再審議が 2012 年 7 月の IASB/FASB 合同ボード会議から開始され、9 月～10 月は、認識する収益の制限（変動対価）回収可能性、貨幣の時間価値、契約に関する問題、契約の変更、進捗度の測定の各トピックについて審議された。11 月は、ライセンス、回収可能性、認識する収益の制限（変動対価）を再審議する予定である。
- 保険契約  
IASB は、9 月のボード会議において、保険契約に関する再公開草案を 2013 年上期中に公表することを決定した。

### 2. 概念フレームワーク

今後の IASB の予定は以下の通り<sup>2</sup>。

	フェーズ	計画
A	目的および質的特性	見直さない
B	構成要素（定義、認識と認識の中止）	従前の作業をベースとして実施する
C	測定	従前の作業をベースとして実施する

<sup>2</sup> 2012 年 11 月 IASB ボード会議資料アジェンダ・ペーパー4 を参照。

<http://www.ifrs.org/Meetings/Pages/IASB-November-2012.aspx>

D	報告企業	公開草案をベースとして実施する
E	表示と開示を含む財務報告の境界	表示を取り扱う 開示フレームワークについては別プロジェクトとすることを検討する（2013年1月28日にロンドンで公開フォーラムを開催）
F	概念フレームワークの目的	現行の目的に関する文言を見直しアップデートする
G	他の企業（事業体）への適用	取り扱わない
H	フレームワーク全体のレビュー	不要とする

上記のB～Fの5項目について同時進行的に次のスケジュールで作業を進める方針であり、会計基準アドバイザリー・フォーラム（次項にて説明）からも意見を聞くこととされている。

- 2013年2月：討議資料（Discussion Paper：DP）の案を作成
- 2013年6月：DPの公開のための投票（ballot）
- 2014年8月：公開草案公表
- 2015年9月までに最終化

なお、ASBJは、ハンスIASB議長より、OCIの利用に関する実態調査を行うことの依頼を受けている。

### 3. 会計基準アドバイザリー・フォーラム設置の提案

IFRS財団は、「会計基準アドバイザリー・フォーラム設置の提案」を2012年11月1日に公表し、広く一般からのコメントを募集している。（2012年12月17日コメント締切）

- 目的：IASBの基準設定プロセスの中での各国基準設定主体及び各地域団体との関係を正式なものにする。
- 役割：基準設定活動に関連した主要な技術的論点に関する助言及び見解をIASBに提供することと、各国及び各地域の論点に関するインプットを提供すること。
- フォーラム参加者は、一定の覚書にサインする。
- メンバー案
  - ◇ 計12名
  - ◇ アフリカ1、米州3、アジア・オセアニア3、欧州3、世界全体2
  - ◇ IASBが現時点で主要な二者間の関係を有している団体、地域団体（AOSSG等）、他の主要な各国基準設定主体。
- メンバーは、2年に一回見直される。
- 年4回開催され、議長は、IASB議長又は副議長がつとめる。

以上